

# 2013年3月期 決算説明会

東証二部 証券コード：6879

株式会社イマジカ・ロボット ホールディングス

**Imagica Robot Holdings Inc.**

2013年5月27日（月）

# 目次

---

- |    |               |      |
|----|---------------|------|
| 1. | 2013年3月期 連結業績 | P.2  |
| 2. | 事業セグメント別業績    | P.8  |
| 3. | 2014年3月期 計画   | P.19 |
| 4. | 参考資料          | P.31 |

# 2013年3月期 連結業績

執行役員 経営企画本部長 大久保力

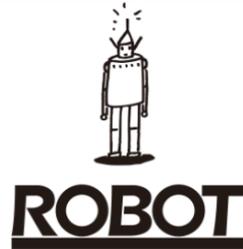
# 2013年3月期 トピックス

ロボット制作映画『BRAVE HEARTS 海猿』  
興収73億円突破！ 2012年邦画興収【第1位】

3Dプロジェクションマッピング  
『TOKYO STATION VISION』の映像制作

※著作権等の都合上、HPでは一部画像を掲載しておりませんが、説明会ではスライド上で作品をご紹介いたしました。

(作品画像)



(C)2012フジテレビジョン ROBOT ポニーキャニオン  
東宝 小学館 エー・チーム FNS27社

(作品画像)

P.I.C.S.

(C)NHKエンタープライズ  
【2012/12/25、DVD発売】

映画専門チャンネル  
『イマジカBS』、  
おかげさまで開局1周年



映画はイマジカBS

<http://www.imagica-bs.com/>

TBSで放送、昭和34年皇太子ご成婚  
記録映画のデジタルリマスター作業を  
IMAGICAが担当



2012年12月7日、  
更なる飛躍を目指して  
東証二部上場



# 2013年3月期 決算ハイライト

フィルム関連市場が想定以上に縮小し、前年比で減収減益

(単位：百万円)

	2012年3月期	2013年3月期	
	通期実績	通期実績	前年比
売上高	50,865	49,919	△1.9%
営業利益 (営業利益率)	2,935 (5.8%)	2,012 (4.0%)	△31.5%
経常利益 (経常利益率)	2,980 (5.9%)	2,095 (4.2%)	△29.7%
当期純利益	2,222	518	△76.6%

# 連結損益計算書

(単位：百万円)

## 主な増減の要因

	2012年3月期	2013年3月期		
	通期実績	業績予想 (2/7修正)	通期実績	前年比
売上高	50,865	50,000	49,919	△1.9%
売上総利益	14,347	—	13,488	△6.0%
営業利益 (営業利益率)	2,935 (5.8%)	1,500 (3.0%)	2,012 (4.0%)	△31.5%
経常利益 (経常利益率)	2,980 (5.9%)	1,600 (3.2%)	2,095 (4.2%)	△29.7%
特別損益	△268	—	△1,101	—
税金等調整前 当期純利益	2,711	—	994	△63.3%
少数株主損益調 整前当期純利益	2,214	—	550	△75.1%
少数株主利益	△7	—	32	—
当期純利益	2,222	320	518	△76.6%

(売上高)  
映像技術サービス事業が前年比△31億円の減収となるも、その他4事業はすべて増収

(売上総利益)  
映像技術サービス事業の売上高減により利益低下、放送事業で「イマジカBS」の送出費用と編成費増

(営業利益)  
放送事業で「イマジカBS」の販促費増加

(特別損失) 11億09百万円  
フィルム関連事業の固定資産減損・除却8億22百万円、他

# 連結貸借対照表

(単位：百万円)

	2012年3月期末	2013年3月期末	
			前期末比
<b>流動資産</b>	<b>24,937</b>	<b>25,201</b>	+264
うち現預金	8,791	9,125	+334
<b>固定資産</b>	<b>14,636</b>	<b>13,899</b>	△737
<b>資産合計</b>	<b>39,573</b>	<b>39,101</b>	△472
<b>流動負債</b>	<b>12,899</b>	<b>11,169</b>	△1,730
<b>固定負債</b>	<b>3,033</b>	<b>2,959</b>	△74
<b>負債合計</b>	<b>15,933</b>	<b>14,128</b>	△1,805
<b>株主資本</b>	<b>23,542</b>	<b>24,501</b>	+959
その他包括利益累計額	△51	290	+341
少数株主持分	148	180	+32
<b>純資産合計</b>	<b>23,639</b>	<b>24,973</b>	+1,333
<b>負債純資産合計</b>	<b>39,573</b>	<b>39,101</b>	△472

## 主な増減の要因

(固定資産)  
主にフィルム設備の除却および減損

(流動負債)  
仕入債務および未払法人税等の減少

(株主資本)  
東証上場時の公募、および第三者割当による自己株式の処分

# 連結キャッシュ・フロー計算書

主な内訳

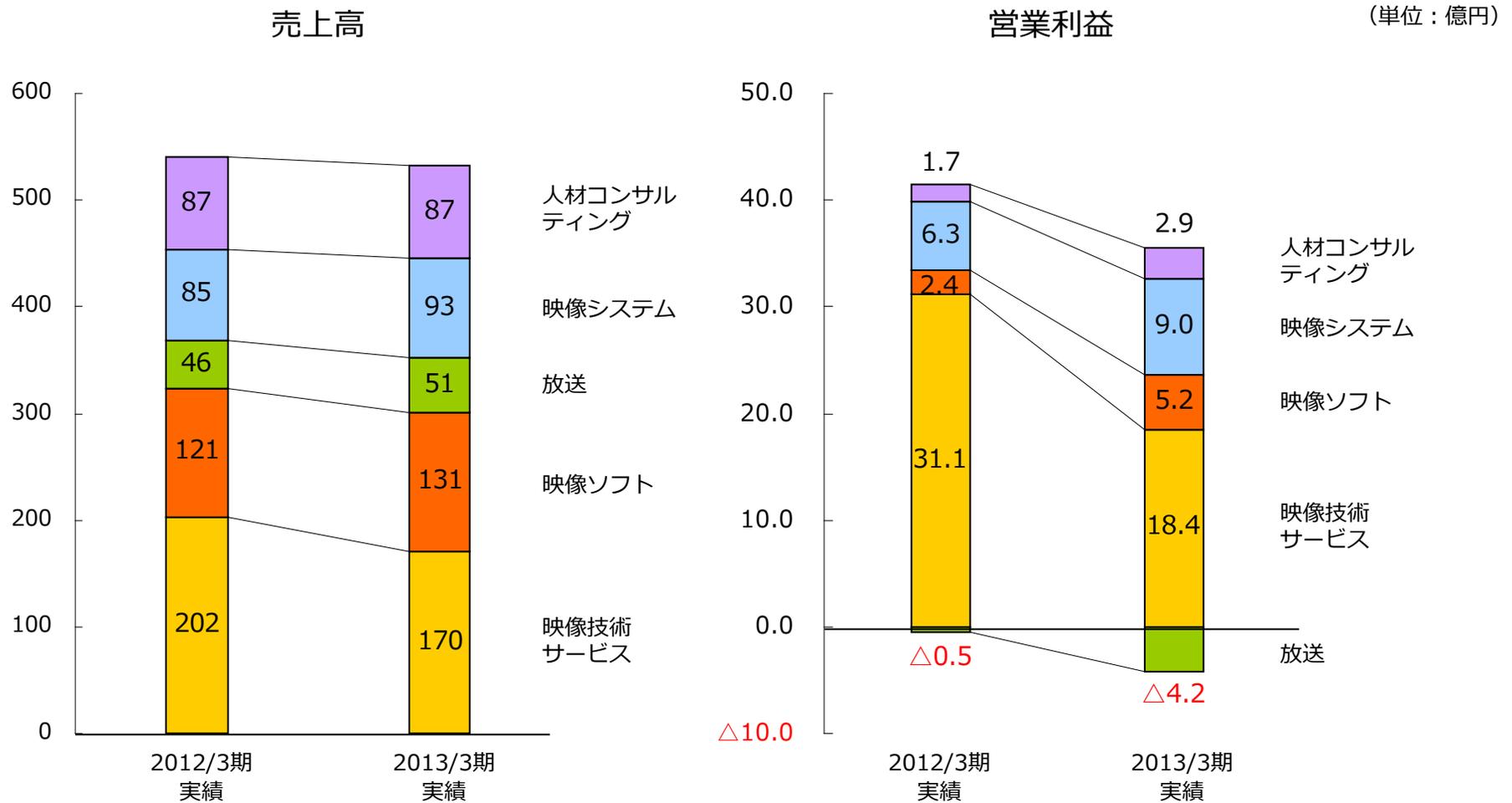
(単位：百万円)

	2012年3月期	2013年3月期
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,902	1,938
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,510	△3,085
財務活動によるキャッシュ・フロー	△2,952	430
現金および現金同等物の増減額	△1,538	△665
現金および現金同等物の期末残高	8,790	8,124

(投資活動によるキャッシュ・フロー)  
定期預金の預入による支出10億円を含む

# 事業セグメント別 業績

# セグメント別損益実績

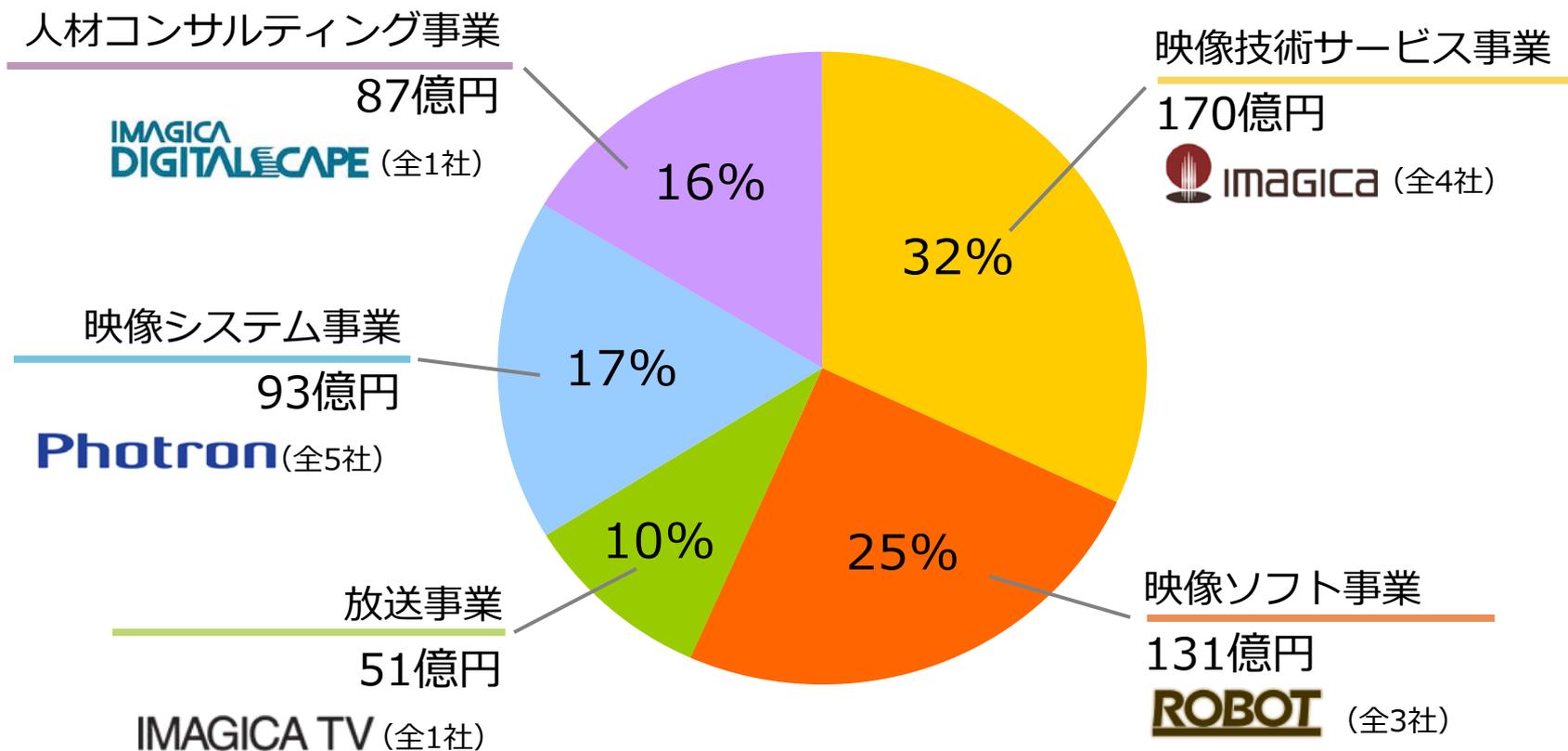


※各事業セグメントの売上高と営業利益を積上表示しており、売上高合計、営業利益合計とは異なります。

# セグメント別売上高構成比

2013年3月期 実績

連結売上高 499億円



※各事業セグメントの売上高を積上表示しており、売上高合計とは異なります。

※2013年3月末時点の連結子会社数を表示しております。

# 2013年3月期 実績

## 事業内容

- ・デジタルシネマ関連サービス、映画フィルムの現像、プリント、合成加工
- ・テレビ映像の編集・加工（ポストプロ）
- ・各種メディア向け技術サービス（VFX\*・CGI制作\*、3D撮影・編集等）
- ・DVD/Blu-ray Discパッケージ化

\*VFXとは、現実には見ることのできない画面効果を実現するための技術のこと。  
 \*CGI制作とは、コンピューターで生成・加工された画像の総称

**売上高170億80百万円**（前年比△15.5%）、**営業利益18億45百万円**（前年比△40.8%）

- ・ テレビ分野、CM分野ポストプロダクションは、前年比増  
 渋谷スタジオ本格稼働、特番受注好調、ファイルベースサービスの追加等
- ・ 予測を上回るフィルム需要減少に、関連事業の最適化に取り組んだ1年  
 （2012年12月末時点 全国映画館3,290スクリーンの9割=2,897 にデジタル設備）



渋谷スタジオの本格稼働



テレビ番組、CM関連のポストプロ作業が堅調

# 2013年3月期 実績

事業内容

- ・映画、テレビ番組、アニメ、Web映像等の企画制作
- ・テレビCM等の広告制作
- ・ミュージックビデオ等の音楽映像制作
- ・各種映像コンテンツのライツビジネス\*

\*ライツビジネスとは、著作物を利用したビジネスのこと

**売上高 131億17百万円**（前年比+7.8%）、**営業利益 5億20百万円**（前年比+110.5%）

- ・「海猿」「踊る大捜査線」等大型作品を含む映画の制作収入等が貢献  
「BRAVE HEARTS 海猿」**興収73.3億円、2012年邦画興収【第1位】**  
「踊る大捜査線 THE FINAL 新たなる希望」**興収59.7億円 同【第3位】**  
「劇場版 鈴木先生」
- ・アニメ制作 2012年秋季放送人気ランキング1位獲得等ヒット作により好調
- ・大型案件も獲得し、広告制作業績向上
- ・「東京駅丸の内駅舎の完成イベント」や「会津・鶴ヶ城イベント」等、3Dプロジェクションマッピング映像制作の増加

（作品画像）

（作品画像）

（作品画像）

（作品画像）

（作品画像）

（作品画像）

※著作権等の都合上、HPでは画像を掲載しておりませんが、説明会ではスライド上で作品をご紹介いたしました。

# 2013年3月期 制作実績 (映画)

**2012年邦画興収【第1位】**

**<興収73.3億円>**

(画像)

**2012年邦画興収【第3位】**

**<興収59.7億円>**

(画像)

**第49回ギャラクシー賞受賞  
テレビドラマ「鈴木先生」  
劇場映画化**

(画像)

※著作権等の都合上、HPでは画像を掲載しておりませんが、説明会ではスライド上で作品をご紹介いたしました。

「BRAVE HEARTS 海猿」  
©2012フジテレビジョン ROBOT ポニー  
キャニオン 東宝 小学館 エー・チーム  
FNS27社

「踊る大捜査線 THE FINAL 新たなる希望」  
©2012 フジテレビジョン アイ・エヌ・ピー

# 2013年3月期 制作実績 (3DPM)

(画像)

(画像)

NHK60周年記念イベント

※著作権等の都合上、HPでは画像を掲載しておりませんが、説明会ではスライド上で作品をご紹介いたしました。

(画像)

東京駅丸の内駅舎復元イベント

SUBARUフォレスター新車発表会

# 2013年3月期 制作実績（その他）

## ライブ映像

(画像)

Perfume（パフューム）ライブ映像

(画像)

L'Arc-en-Ciel（ラルクアンシエル）ライブ映像

## その他映像

(画像)

NHKオリンピック オープニング映像

※著作権等の都合上、HPでは画像を掲載しておりませんが、説明会ではスライド上で作品をご紹介いたしました。

# 2013年3月期 実績

- 事業内容
- ・衛星放送（BS/CS）、CATV、インターネット放送、ホテルペイテレビ等の番組の放送、コンテンツ供給
  - ・映像コンテンツの企画・制作・編成

**売上高 51億30百万円**（前年比+9.8%）、**営業損失 4億22百万円**（前年差異△3億62百万円）

- ・ 2012年3月「イマジカBS」開局  
視聴料収入は堅調に推移するも開局に合わせた販促積極展開、送出費用の先行あり
- ・ 「歌謡ポップスチャンネル」加入者大幅増加、媒体価値向上し広告売上増加  
10月「スカパー！（旧スカパー！e2）」、2月「J:COM」ベーシックチャンネル放送開始
- ・ ホテル分野では、工事物販を継続的に受注、震災の影響から回復基調

チャンネル	<p>イマジカBS 2012年3月1日開局</p>   <p>(旧：洋画★シネフィル・イマジカ)</p>	<p>歌謡ポップスチャンネル</p>  <p>歌謡ポップス チャンネル</p>	<p>食と旅のフーディーズTV</p> 
	世帯数	<p>視聴可能世帯数（2013/4時点） <b>約468万世帯</b></p>	<p>視聴可能世帯数（2013/2時点） <b>約560万世帯</b></p>

## 2013年3月期 実績

## 事業内容

- ・放送等プロ用映像機器の開発・製造・販売
- ・画像計測システム（高速度ビデオカメラ等）の開発・製造・販売
- ・LSIの開発・製造・販売

**売上高 93億53百万円**（前年比+9.1%）、**営業利益 9億06百万円**（前年比+43.4%）

- ・プロ用映像機器分野はテレビ局の大型案件受注もあり、保守・レンタルも着実に受注
- ・イメージング（高速度ビデオカメラ）分野  
自動車メーカー等へ納品が順調に推移した一方、海外市場は欧米の景気低迷の影響も
- ・医用画像処理分野 着実な受注で業績貢献
- ・2012年7月に子会社2社を合併、経営の効率化と営業体制強化により収益向上



# 2013年3月期 実績

事業内容

- ・人材派遣、人材紹介の人材コンサルティングサービス
- ・WEB、GAME・CG等の制作受託サービス
- ・専任講師による人材育成

**売上高 87億77百万円**（前年比+0.3%）、**営業利益 2億94百万円**（前年比+69.6%）

- ・人材派遣・請負サービスは、WEBやゲームを中心に稼働者が増加、人材紹介案件も好調  
映像技術者は派遣者数増加、単価上昇で堅調に推移
- ・コンテンツ制作受託分野も、ゲーム制作を中心に大型案件を受注

(作品画像)

(作品画像)

(作品画像)

(作品画像)

※著作権等の都合上、HPでは画像を掲載しておりませんが、説明会ではスライド上で作品をご紹介いたしました。



- (株) セガ 「龍が如く5 夢、叶えし者」
- (株) CAPCOM 「ドラゴンズドグマ」
- (株) コーエーテクモゲームス 「NINJA GAIDEN 3」
- (株) コナミデジタルエンタテインメント 「WORLD SOCCER WinningEleven 2013」

「クリ博ナビPRO」 <http://www.kurihaku.jp/pro/>  
 会員36,000人を抱えるIT・インターネット・ゲーム業界へ転職を希望するクリエイター、エンジニア向けの転職サイト。※2013年2月にオープン

# 2014年3月期 計画

代表取締役社長 長瀬朋彦

## 映画作品「永遠のゼロ」、「ジンクス!!!」他、公開

(作品画像)

(作品画像)

「ジンクス!!!」2013年11月16日公開予定

※著作権等の都合上、HPでは画像を掲載しておりませんが、説明会ではスライド上で作品をご紹介いたしました。

「永遠のゼロ」2013年12月公開予定

(作品画像)

「カノジョは嘘を愛しすぎてる」2013年12月公開予定

「百瀬、こっちを向いて。」2014年春公開予定

劇場版「タイムスクープハンター」  
2013年8月31日公開予定

## 世界初、高速・2次元光学位相差ムラ計測技術を開発 「KAMAKIRI（仮称）」発売予定



【世界初】生産ライン向け高速位相差マッピングシステム  
「KAMAKIRI（仮称）」発売予定

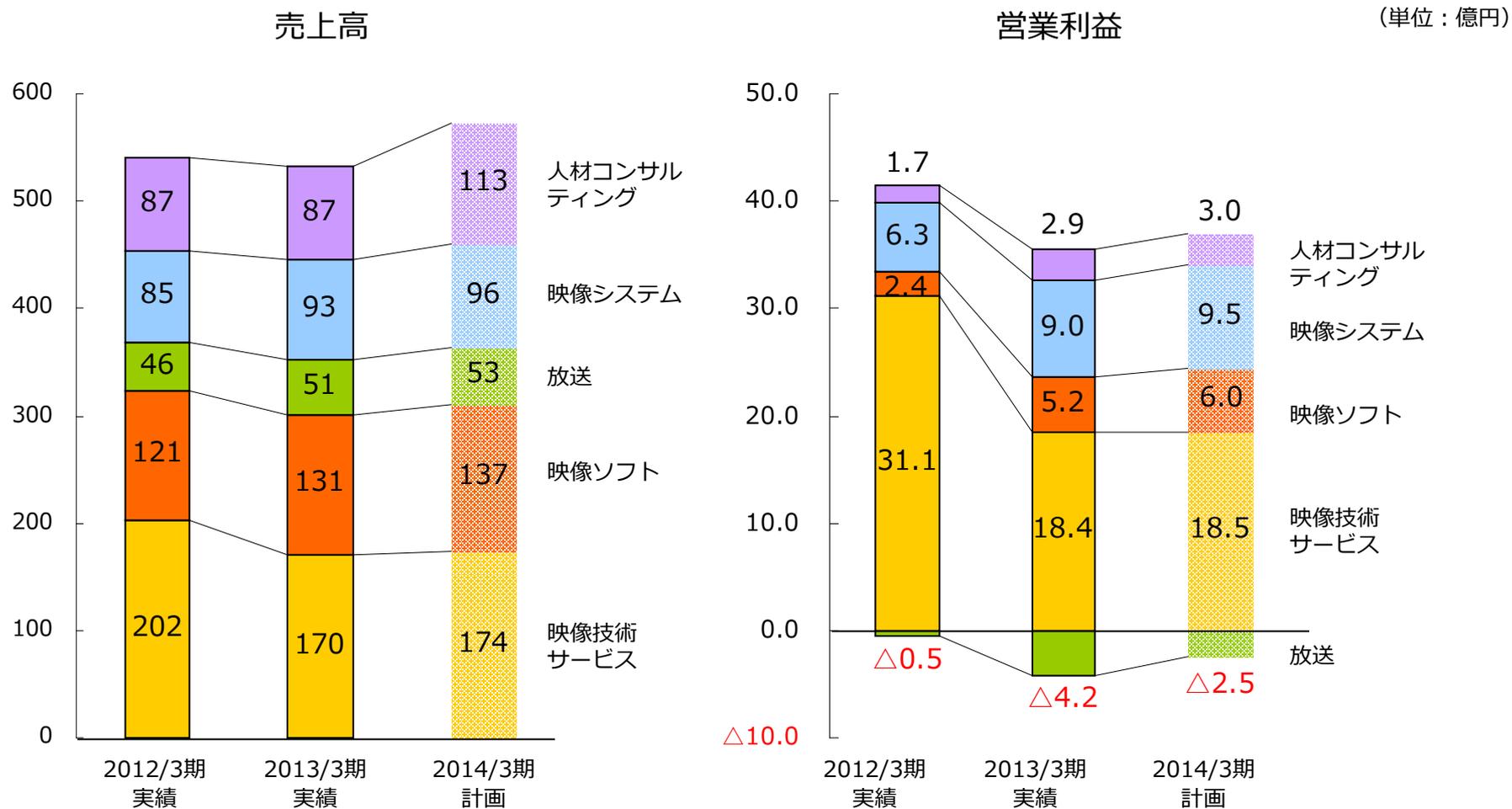
# 2014年3月期の主な取り組み③

## 新たにクラウドソーシングを開始



「クリ博オンラインワーク」  
5/17よりβ版サービス開始

# セグメント別損益実績・計画



※各事業セグメントの売上高と営業利益を積上表示しており、売上高合計、営業利益合計とは異なります。

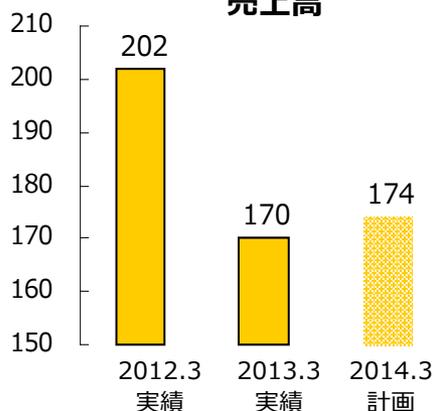
# セグメント別 2014年3月期 計画

## 映像技術サービス事業

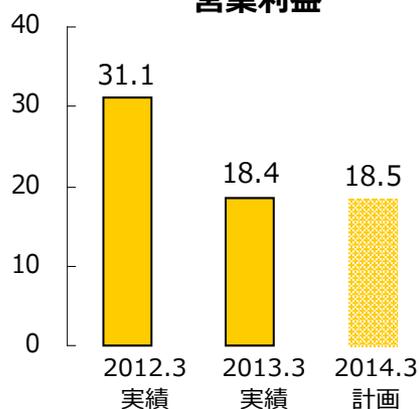


(単位：億円)

### 売上高



### 営業利益



**売上高 174億円、営業利益 18億50百万円**

- 映画劇場向けネットワーク配信サービスの開発
- デジタル化、ファイルベース化対応の新しいスタイルのポストプロダクションサービス

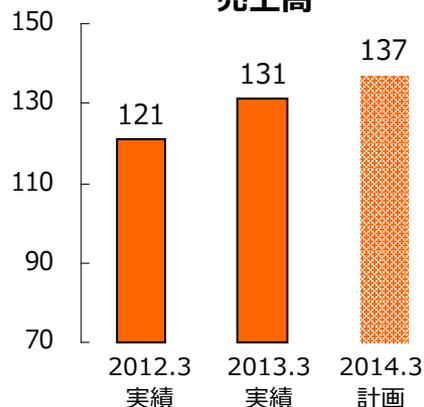
# セグメント別 2014年3月期 計画

## 映像ソフト事業

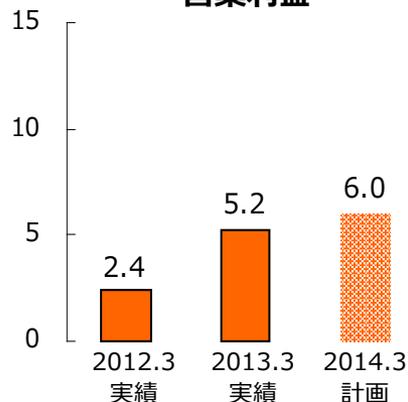
**ROBOT** (全3社)

(単位：億円)

### 売上高



### 営業利益



**売上高 137億円、 営業利益 6億円**

- 「永遠のゼロ」等、  
映画作品を確実に制作

(作品画像)

- 3Dプロジェクションマッピングや  
音楽映像など、競争力の高いエリアに注力

※著作権等の都合上、HPでは画像を掲載しておりませんが、説明会ではスライド上で作品をご紹介いたしました。

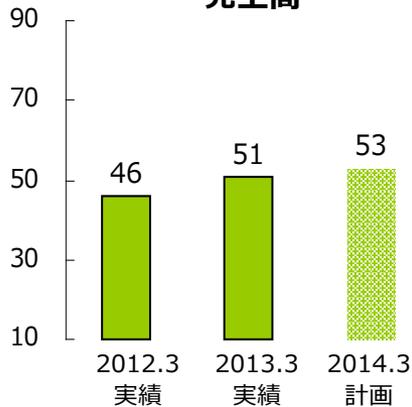
# 2014年3月期 計画

IMAGICA TV (全2社)

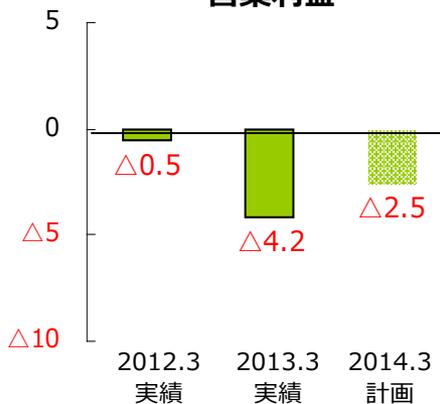
## 放送事業

(単位：億円)

### 売上高



### 営業利益



売上高 53億円、営業損失 2億50百万円

- フーディーズTV・タベラッテによる  
放送とネットの融合

食と旅の  
フーディーズTV + tabelatte

IMAGICA FTV

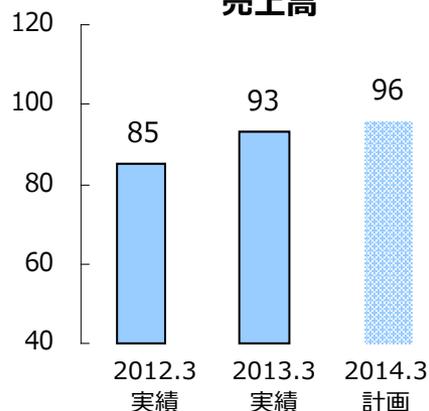
# 2014年3月期 計画

## 映像システム事業

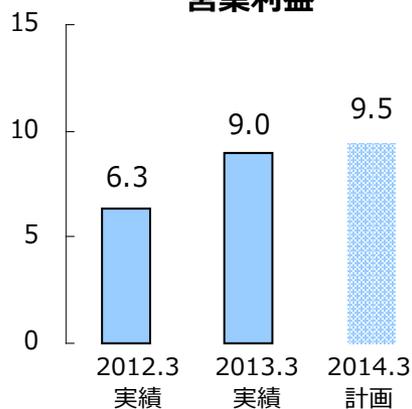
Photron (全5社)

(単位：億円)

### 売上高



### 営業利益



売上高 96億円、営業利益 9億50百万円

- 次世代カメラの開発と  
新市場、専門市場の開拓



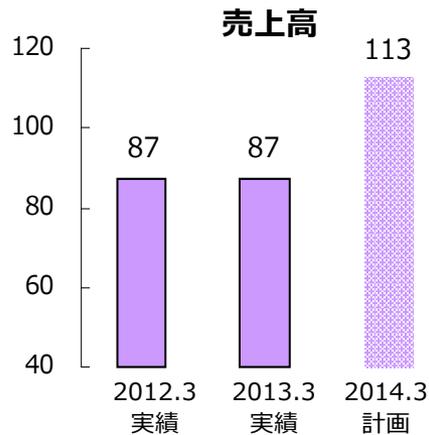
【世界初】生産ライン向け高速位相差マッピングシステム  
「KAMAKIRI (仮称)」発売予定

# 2014年3月期 計画

IMAGICA  
DIGITAL ESCAPE (全2社)

## ■ 人材コンサルティング事業

(単位：億円)



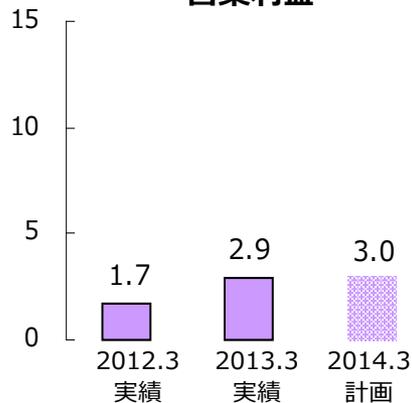
売上高 113億円、 営業利益 3億円

- クラウドソーシング開始、サービスライン拡充

- 放送局への技術者派遣

(株)コスモ・スペースの株式取得

営業利益



# 2014年3月期 損益計画

(単位：百万円)

	2012年3月期	2013年3月期	2014年3月期	
	通期実績	通期実績	通期計画	前年比
<b>売上高</b>	<b>50,865</b>	<b>49,919</b>	<b>52,000</b>	+4.2%
<b>営業利益</b> (営業利益率)	<b>2,935</b> (5.8%)	<b>2,012</b> (4.0%)	<b>2,100</b> (4.0%)	+4.4%
<b>経常利益</b> (経常利益率)	<b>2,980</b> (5.9%)	<b>2,095</b> (4.2%)	<b>2,200</b> (4.2%)	+5.0%
<b>当期純利益</b>	<b>2,222</b>	<b>518</b>	<b>1,200</b>	+131.3%
<b>配当金 (年間)</b>	15円	15円	15円	—

**MAGIC  
FACTORY**  
imagica robot group

# 参考資料

## 資料一覧

- ・グループ経営理念 P.32
- ・会社概要 P.33
- ・イマジカ・ロボットグループの沿革 P.34
- ・事業セグメントと事業領域 P.35
- ・2013年3月期 年間トピックス P.36
- ・用語解説 P.37
- ・お問い合わせ先 P.38

# グループ経営理念

# MAGIC FACTORY

**Image Magic Creative Magic Technology Magic Communication Magic**

イマジカ・ロボットグループは、誠実な精神をもって、  
映像コミュニケーションにおける新たな価値創造につとめ、  
人々に楽しい驚きを与える“魔法の工場”をめざします。

# 会社概要

2013年3月末日現在

会社名	株式会社イマジカ・ロボット ホールディングス 東京証券取引所市場第二部 証券コード：6879		
設立	1974年6月10日（1935年2月18日：極東現像所として京都・太秦で創立）		
本店所在地（登記上）	東京都品川区東五反田2-14-1		
本社所在地	東京都千代田区内幸町1-3-2 内幸町東急ビル11階		
代表者	代表取締役会長 長瀬文男 、 代表取締役社長 長瀬朋彦		
事業内容	映像技術サービス事業、映像ソフト事業、放送事業、映像システム事業、 人材コンサルティング事業を営むグループ会社の株式保有ならびに事業の統括		
連結売上高	499億19百万円（2013年3月期実績）		
グループ会社	連結子会社：16社（2013年4月1日時点）	従業員数	2,110名（2012年3月末時点）
発行済み株式総数	44,531,567株（うち自己株式数2,059,465株（4.6%）、除く自己株式数42,472,102株）		
主要株主	株式会社クレアート	62.6（%）	（注）
	株式会社三井住友銀行	2.8（%）	
	株式会社フジ・メディア・ホールディングス	1.9（%）	
	（注）発行済み株式総数に対する比率		

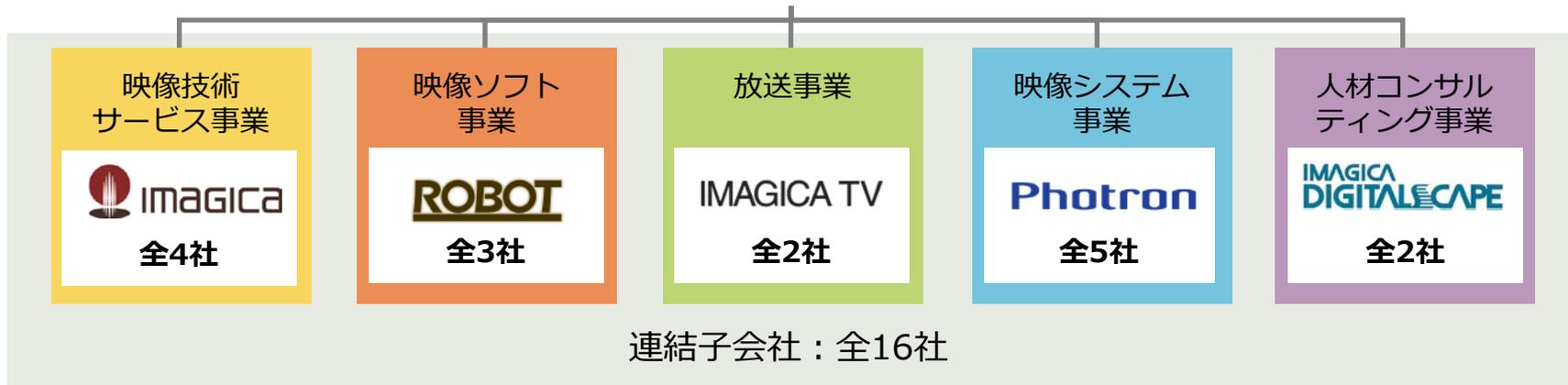
# イマジカ・ロボットグループの沿革

1935年 2月	映画フィルム現像・上映用プリント事業を目的に、株式会社極東現像所として京都・太秦で創業
1942年 1月	商号を株式会社東洋現像所に変更
1986年 1月	商号を株式会社IMAGICAに変更
1992年 7月	映像機器開発・製造・販売の株式会社フォトロンへ資本参加
1996年 5月	CSデジタル放送の株式会社シネフィル（現IMAGICA TV）を設立、同年10月より放送事業開始
1997年 9月	株式会社フォトロンが株式店頭公開
2006年 3月	株式会社ロボットと経営統合
2006年 7月	商号を株式会社イマジカ・ロボット ホールディングスに変更
2009年 2月	短編アニメ『つみきのいえ』が米国アカデミー賞受賞
2009年 5月	人材コンサルティングの株式会社デジタルスケープに資本参加
2011年 4月	グループ組織再編により株式会社イマジカ・ロボット ホールディングスがジャスダックに上場
2012年 3月	映画専門のBSチャンネル「イマジカBS」開局
2012年12月	東京証券取引所市場第二部に上場

# 事業セグメントと事業領域

Imagica Robot Holdings Inc.

2013年4月1日現在



## 映像制作の入口から出口まで、一貫したバリューチェーンを持つグループ



# 2013年3月期 年間トピックス

東京証券取引所市場第二部上場

電通、民放各社と共同でアジア太平洋地域向けに日本コンテンツ専門の総合エンタテインメント・テレビチャンネル『Hello! Japan』立ち上げ

4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月

●IMAGICAが日本初、AR（拡張現実）と屋外ビジョンを組み合わせた技術デモンストレーション『VOCALOID™3 ユニカビジョンでARやってみた!』を実施（新宿区）

●ピクス企画・制作のNHKドキュメンタリードラマ風歴史教養番組 ドラマ『タイムスクープハンター・シーズン4』放送開始、2013年夏に劇場映画化決定

●ロボット企画・開発・制作の『カナガワニ』がテレビ神奈川（tvk）の局キャラクターに採用、2012/11「かながわ観光親善大使」に任命

●フォトロン中国現地法人を設立

●ロボット制作協力のアニメ映画『紙兎ロペ』劇場公開

●第65回カンヌ国際映画祭で、IMAGICAがデジタルリマスター作業を担当した「檀山節考」上映

●ロボット制作の短編映画『グッドカミング〜トオルとネコ、たまに猫〜』が「Short Shorts Film Festival & Asia 2012」ミュージックShort部門で優秀賞を獲得

●ロボット制作のテレビCM『OTONA TSUTAYA』が「第49回ギャラクシー賞」CM部門選奨、「第65回広告電通賞」生活文化部門最優秀賞を受賞

●ロボット制作映画『BRAVE HEARTS 海猿』全国劇場公開【興収73.3億円】

●ロボット制作の『Google×AKB48キャンペーン』がカンヌライオンズ国際クリエイティビティ・フェスティバルのモバイル部門にてブロンズを獲得

●IMAGICAが生放送初の独自AR/VRの技術サービスを提供したWOWOW特別番組「福山雅治36時間テレビスペシャルライブサーキット『fighting pose』LIVE #1、2、5」が、「第65回日本映画テレビ技術協会 映像技術賞」を受賞

●ピクスが東京駅丸の内駅舎保存・復原完成記念イベントの3Dプロジェクションマッピング映像を制作（DVD発売中）

●ロボット制作映画『踊る大捜査線 THE FINAL 新たなる希望』全国劇場公開【興収59.7億円】

●ロボット制作の3作品、ミュージックビデオ『はじめよう』、長編アニメ『friends ものけ島のナキ』、短編アニメ『NO RAIN NO RAINBOW』が「第16回文化庁メディア芸術祭」にて受賞と推薦作品に選出

●IMAGICAが香港の特別テレビ番組「Starhub TVB Awards 2012」にAR/VR技術を提供

●IMAGICA TVが運営する『歌謡ポップスチャンネル』が「スカパー！（旧スカパー！e2）」で放送開始、加入世帯数400万世帯突破

●ロボット×ピクス共同でSUBARUの新型「SUBARUフォレスタ―」発表会の3Dプロジェクションマッピングを企画・制作

●ピクスがNHK杯国際フィギュアスケートでリンク投影映像を制作受託

●ピクスがJRA『ステーションケイバ（新宿駅）』のデジタルサイネージ映像制作受託

●テレビ東京「出没！アド街ック天国」の「恵比寿南編」でロボットが街の名所で第7位として登場

●IMAGICA TVが運営する『歌謡ポップスチャンネル』がJ:COMベーシックchで放送開始、加入世帯数560万世帯突破

●放送事業にIMAGICA FTV設立、国内唯一の放送とインターネット融合型“食”総合コンテンツ・メディア誕生

●「第49回ギャラクシー賞」など数々の賞を獲得したロボット制作のテレビドラマ『鈴木先生』（テレビ東京）が劇場映画化、全国公開

●WOWOW×TBSの共同制作ドラマ『ダブルフェイス』をロボット所属の羽住英一郎が監督

●ジェンコのプロデュースアニメ「ソードアート・オンライン」が2012年秋季放送アニメ人気ランキング1位

# 用語解説

<b>ポストプロダクション (ポストプロ)</b>	撮影素材を作品の流れに沿って編集を行う、色調を調整する、CGとの合成や音声と合わせるなど、映像の制作工程で撮影終了時点から作品完成までの処理工程のこと。また専門にこれらを扱う部門や会社の総称。
<b>ファイルベース</b>	旧来は映像データの送付や保存にはテープを媒体として使用していたが、最近ではデジタル化に伴い、テープを使わずデータファイルの状態を送付・保存が可能となった。取り扱う手間や管理面でも便利で、放送局等でもデータ化が進んでいる。
<b>AR (拡張現実)</b>	現実の環境から知覚に与えられる情報に、コンピュータが作り出した情報を重ね合わせ、補足的な情報を与える技術のこと。
<b>ライツビジネス</b>	著作物を利用したビジネスのこと。
<b>3Dプロジェクション マッピング</b>	建物などの凹凸を3Dデータ化しておき、その表面に立体的な映像をプロジェクターで映写する技術のこと。
<b>音楽映像</b>	音楽に合わせて制作した映像のこと。音楽の宣伝ツールとして制作されていたため、プロモーションビデオと呼ばれていたが、創造性のある革新的な映像表現を取り入れた作品が多く誕生し、ミュージックビデオと呼ばれるようになった。ミュージックビデオの他に、ライブステージの背景に映し出される映像なども音楽映像のひとつ。
<b>高速度ビデオカメラ (ハイスピードカメラ)</b>	高速現象を撮影することを目的としたカメラ。高速度ビデオカメラで撮影した映像を通常の速さで再生すると、スローモーションとして見るができる。ハイスピードカメラともいう。
<b>偏光カメラ</b>	目に見えない偏光の変化を撮影するカメラ。スマートフォンなどに使われるフィルムやプラスチックの強度評価等にも利用される。
<b>位相差</b>	物理学で、振動や波動などの周期運動の過程でどの点にあるかを示す変数。例えば、物体に負荷をかけると物体の屈折率にムラができ、光を通す速度が変化するが、負荷のない部分と負荷のかかった部分で光が通過する時間差を、光学位相差と呼ぶ。
<b>クラウドソーシング</b>	WEBサイトを通じて、業務を委託するビジネスのこと。時間や場所に関わらず、全国の登録者のうち最適なワーカーに仕事を依頼することができ、時間と費用の削減効果もある。

# お問い合わせ先

株式会社イマジカ・ロボット ホールディングス

経営企画本部 総務部

T E L : 03-6741-5750

F A X : 03-6741-5751

Email : [ir@imagicarobot.jp](mailto:ir@imagicarobot.jp)

URL : <http://www.imagicarobot.jp/>

## 【将来予測について】

本資料に記載されている当期ならびに将来の業績に関する予想、計画、見通し等は、現在入手可能な情報に基づき算定しており、判断や仮定に内在する不確実性および今後の事業運営や内外の状況変化等による変動可能性に照らし、実際の業績等が見通しの数値と異なる結果となり得ることをご承知おきください。